

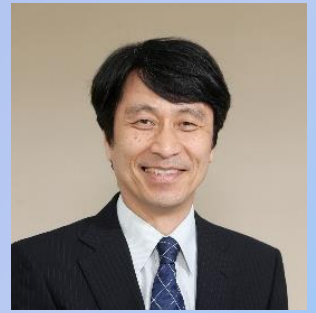
研修で
学校が
変わる

ワークショップ② まとめ

「温かい学級づくり」

～SEL-8Sの活かし方～

令和2年6月25日（木）



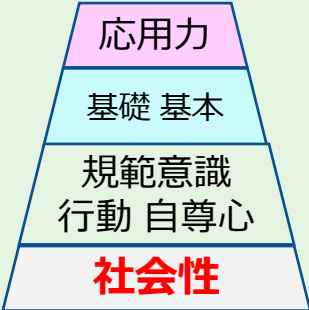
「Web会議による遠隔講義」

講師 小泉 令三 氏（福岡教育大学 教授）

【研修のねらい】

- 児童生徒理解に基づく**社会性を育む**具体的な取組について理解を深め、不登校や問題行動等の未然防止に活かす。

1 人間関係能力（社会性）が学校適応の基礎部分にある



社会性が育まれることによって自尊心が高まり、規範意識や行動が身につく。それによって、基礎・基本の学習が成立し、さらに応用力を身につけ、**学校生活に適應**することができるようになる。

【私はこの学びをこう活かす！】

基盤となる社会性について

- 経験が乏しく、相手の気持ちを想像できない子どもが増えていることを実感している。人間関係能力（社会性）が学校適応の基礎部分という意味で、**SEL-8Sプログラム**を繰り返し実施して社会性を育てていきたい。

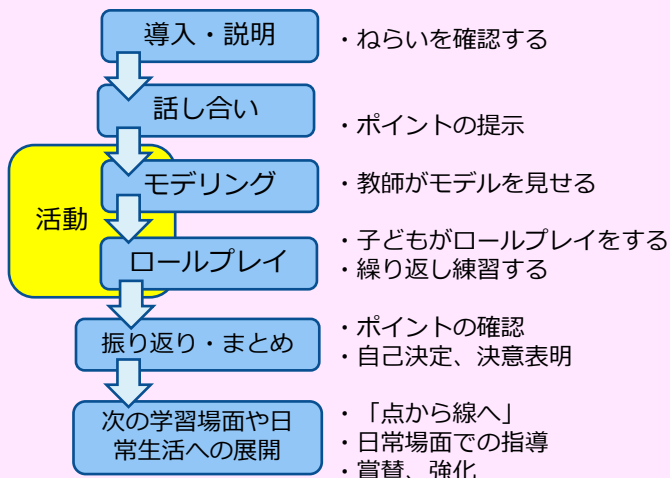
2 社会性の育成・・・気づきを促し、コツを教えるために、社会性と情動の学習「SEL-8S」を意図的に位置づける

(Social and Emotional Learning of 8 abilities at School)

○ 8つの能力

- a : 自己への気づき b : 他者への気づき
- c : 自己のコントロール d : 対人関係 e : 責任ある意思決定
- f : 生活上の問題防止のスキル
- g : 人生の重要事態に対処する能力
- h : 積極的・貢献的な奉仕活動

○ 授業の進め方



【私はこの学びをこう活かす！】

8Sの習得に向けて

- 学級にも言葉遣いが悪かったり、思い込みやすれ違いでトラブルになってしまうことがある。子どもたちのトラブルになりそうな場面を学級でソーシャルスキルのような形で学習することで、人間関係能力の向上につなげたい。
- クラスの雰囲気や学力に直結することを実際にデータで確認して、より一層人間関係能力の育成に力を注がなければと痛感した。「心の信号機」等、一度児童生徒が自分の心を見つめなおす機会をつくりたい。
- 昨年度研修を受けた。繰り返し受けることで、より理解が深まった。本校はSEL-8Sプログラムを取り入れており、各学年に応じたスキルの獲得につなげている。子どもたちの実態に合わせて継続して取り組んでいきたい。

授業実践の具体化に向けて

- 小規模校ゆえに教員の手が入りすぎ、生徒自身でトラブルを解決する力が弱い傾向がある。学んだプログラムは有効だと思うので、学級活動に取り入れたい。
- 「心の信号機」の学習が、幅広い学年で実践できそうだった。中学生を対象に実践された「トラブル解決学習」が応用できそうだ。

【私はこの学びをこう活かす！】

3 「SEL-8S」展開のポイント

- ① 試行とそこでの教師の手応え
- ② 「点から線へ」の指導計画
- ③ 組織的な取組と教育課程への位置づけ

学校全体でSEL-8Sに取り組むことに向けて

- 「社会性の育成のためのコツを教える」ということ、今の子どもたちをみていて、大いに納得した。継続して取り組むために学校全体で取り組む必要がある。今までしてきたことを系統的に特別活動等にくみいれるようにしたい。